

一般社団法人 グレイス・ロード 本部・障がい者自立支援事業部
車輛購入事業 活動報告書

■ はじめに

まず初めに、このたび車輛購入事業について、貴財団様より多大なご助成を賜りましたことを、グレイス・ロード一同、心より感謝申し上げます。お蔭さまで、購入することのできた車輛は、利用者の回復に日夜役立つと共に、解決策がわからず困っている当事者と家族に向けての相談事業、また地域社会の中でギャンブル依存症という病気の正しい理解を促進する啓発活動にも日々活用させていただいております。

■ 助成先として採択された当時の課題点

庭野平和財団様より助成していただいた、2015年10月時点での私達の施設は、同年2月に施設を開設したばかりの1年目で歴史も浅く、今以上に大きな課題を抱えていました。

その課題とは、

- ① そもそもギャンブル依存症という病気が、社会的に知られていないこと
 - ② そして理解を求めようとしても、自己責任論で片付けられる事態に多々直面したこと
 - ③ そのような状況下で、地域社会に施設を開設したため、地域住民に受け容れられ、地域行政に理解されるかどうかとの不安を抱えていたこと
 - ④ それでも困っている当事者及び家族が、救済を求めて次々相談を寄せ入所を希望したため、設備面の充実を図ることが急務となったが、施設利用料を低く抑えて設定しているため、資金捻出に苦慮せざるを得なかったこと
 - ⑤ 従って、高額である車輛の購入は非常に難しい問題であること
 - ⑥ 入所希望者が絶たなかったことから、このように困っている当事者と家族が潜在的に多いことが判明したものの、その人たちに「回復場所があること」を伝える手段が少ないこと
 - ⑦ 支援者・支援団体がいないこと
 - ⑧ 施設の活動を伝え、支援を呼びかけるツールとして、同年5月より機関誌の定期刊行を開始したが、地域的に該当する障害者定期刊行物協会が無く、またギャンブル依存症を精神障害と認めてもらえず、第三種郵便物として発行することができなかったこと
- などです。

■ 課題点の解決に向けて

このように、どちらを向いても課題だらけだった私たちでしたが、ひとつひとつ解決すべく、活動をしていきました。そんな時、庭野平和財団様より助成採択のお知らせが届いたのです。車輛購入を実現できる嬉しさはもとより、それ以上に私たちは、世界中の185もの団体の中から選ばれたわずか12団体のひとつに私たちを加えていただいたことに感銘を受けました。つまり、ギャンブル依存症という病気と私たちの回復プログラムをご理解いただいた上で助成を決定してくださった、そのこと自体に大きな喜びを感じ、活動への意欲をかき立てられたのです。

助成金先として採択していただいた 2015 年 10 月以降、私たちの課題がいくつか解決に向けて進展しました。

それは、

- ① I R 法案の可否がニューストピックとなって社会的に問われ出したため、「ギャンブル依存症」という単語が頻出して一般化し、「ギャンブル依存症問題対策を講じなければならない」、という世論が表に出たこと
- ② 施設の所在地である、「山梨県」および「甲斐市」が障害者団体として認めたこと
- ③ また町内会長である県議会議員の方が、施設開設を歓迎し、町内会活動に招き入れてくれたこと
- ④ 民間団体として補助金等は何も無いため、相変わらず資金は不足しているものの、施設の存在が少しずつ認知を広めたことにより、必要な設備に関する寄付がいくつかあったこと
- ⑤ 庭野平和財団様より車輛購入事業に対して助成金をいただいたこと
- ⑥ 2016 年 9 月 17 日（土）、甲斐市内でフォーラムを開催したことにより、多くのマスコミ取材があり、地域の方に当施設の存在と、ギャンブル依存症に関する相談先があることをある程度知っていただくことができたこと
- ⑦ まだ支援会は発足していないものの、継続的に支援してくださる方が少しずつ現れだしたこと
- ⑧ 山梨県により障害者団体として認めていただいたため、「北陸障害者定期刊行物協会」に加盟することができ、機関紙「アメイジング・グレイス」第 3 号（2016 年 4 月 18 日発行）より、低料第三種郵便物としての発行が可能となり、全国のより多くの方々へ活動状況をお知らせすることができるようになったこと

などです。

■ 車輛購入事業

すぐにでも 8 人乗り車輛が欲しかったのですが、思うように献金が集まらず、当初の計画では車輛購入費用献金の目標額は 100 万円でしたが、大きな目標に近づくことすらできないまま月日が経ちました。また状態の良い 8 人乗りの中古車が見つかりませんでした。

とうとう、状態の良い車が見つかったのは、2016 年 4 月のことです。

トヨタ・ノア（TOYOTA NOAH）2006 年製（走行距離 55,900 km）

車輛価格は 800,000 円でした。

ノアの導入により、施設の運営は格段に機動的になりました。私たちのプログラムでは、自助グループに 1 年 365 日で続けることが必須となっています。その会場は週の中で毎曜日異なります。しかも県内ばかりでなく、長野県、神奈川県、東京都などにも足を延ばします。その理由は、多くの仲間たちと出会うことと、自立への布石として習慣づけることにあります。

また遠い病院への通院にも利用します。さらに、私たちの施設は食当制であるため、たくさんの食材の調達が必要となりますが、その買い出し作業にもなくてはならない存在です。

ノアは購入以来、日夜、施設の足として、活用され続けています。

この事業の実現ができたのは、助成金をいただいたお蔭です。大切にに使わせていただいております。本当にありがとうございました。

■ フォーラム開催

2016年9月17日土曜日、私たちを受け容れてくれた地域の皆様と、支えてくださっている方々への感謝を込めて、「グレイス・ロード1周年感謝フォーラム ギャンブル依存症とは・・・ ～その回復と再生～」を、地元甲斐市の「双葉ふれあい文化館ホール」にて開催しました。

内容は、

- * 貴闘力氏講演 「過去のギャンブル体験からの回復」
- * 森田展彰氏講演 「ギャンブル依存と家族関係」(筑波大学社会精神保健学准教授)
- * 田中紀子氏講話 「ギャンブル依存症～病気の概念と解決策～」
- * 回復のメッセージ・・・ギャンブル依存症当事者・家族・自立者の話
- * メンバーによる演劇「ギャンブル依存症とは」

などです。

このフォーラムに多くの方々にお集まりいただけるよう、メンバー全員が地元地域をはじめ、県内各地にチラシを配布しに行きました。近場は自転車による配布でしたが、遠隔地についてはノアで出向きました。その甲斐あって、当日は500名を越えるご来場者があり、私たちのメンバーによる演劇の公演は、立見もできるほどでした。アンケート結果でも非常に好評だったと知ることができ、大きな成果を上げることができました。(参考資料添付)

この催しが珍しい試みだったことから、たくさんのメディアに取り上げていただき、その後の相談者も増えました。

ノアは、当日のみならず準備段階においても、物品の買出し、大道具・準備物の移動、人員の移動など、無くてはならない存在として活用しました。

■ 終わりに

庭野平和財団様より車輛購入事業を助成いただいたお蔭で、非常に活動の幅が広がりました。私たちの抱えている課題点の克服にも、大いに貢献する存在です。

これからも、貴財団様のご厚意に報いるよう、入寮している全員の回復と社会復帰を目指し、誠実に活動を続けて生きたいと思っております。

(文責：遠山)



山梨501
14-68

